辻川だより

第２２号［2012 夏号］　平成２４年７月７日発行

発行　辻川区　［辻川公民館］
〒679-2204　福崎町西田原 1227
TEL　0790-22-5763
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www10.plala.or.jp/tujikawa/

第 25 回運動会　菓子とり急げ

おれ

このたびは辻川界隈展での懐かしの写真展「辻川の昔と今」開催にあたり、貴重な写真を提供していただいた、伊藤源五様、鈴木一正様（市川町）、福崎町教育委員会の皆様に感謝申し上げます(6/18 現在)。

辻川界隈展と民俗学のタベ

区長　釜坂道弘

また暑い夏がやってきました。

辻川区では、山桃忌を前にした一週間を民俗学週間として恒例行事を行ってきました。今年も辻川界隈展と民俗学のタベの準備をしています。

今年は、界隈展のなかで「辻川の昔と今」をテーマにした写真展を新たに加えました。昔の辻川の様子を伺うことが出来るものと期待をしています。また、民俗学のタベでは地域の方の手作りの燈籠に灯をともし、夏の夜を楽しんでいただきたいと思っています。

この行事は、「民俗学のふるさと」辻川にしか出来ない行事であると同時に、辻川区の住民一人ひとりの参加と協力がないと出来えません。暑い時期ではありますが、みなさまのご理解とご協力をお願いする次第です。

新設された大正時代風の街灯

協議員会は今

4～6月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。

① 溝普請の内容・分担確認。
② 田原幼児園南の新設ゴミステーションの規模・利用範囲
③ 山口堂建設業者確認。完成時の竣工式で記念タオルを全戸配付検討。
④ 辻川界隈展・民俗学のタベ内容検討。懐かしの写真展は旧道沿いに。民俗学のタベの準備作業を簡素化するための境内配線は今年の状況を業者に視てもらうことから。
⑤ 屋台保存委員会から提出された２４項目の点検結果を受けて、今年の祭りまでに実施する改修項目検討。
⑥ 消防団活動補助金アップ。
⑦ 協議員の選出方法検討。
⑧ 今年の敬老会も昨年同様、お祝い金の一律配付を決定。

新役員紹介［代表のみ］

★老人会会長（4月改選）
第1ｸﾗﾌﾞ　上延　教泰
第2ｸﾗﾌﾞ　内藤　泰彦
第3ｸﾗﾌﾞ　小谷　喜多男

隣保長交代

20隣保　…　森上　純子

当面の予定

7／14(土)　山口堂竣工式
7／22(日)　人権学習と青少年健全育成研修会
7／29(日)～8／5(日)　辻川界隈展
懐かしの写真展・隣保灯籠飾り他
8／4(土)　民俗学のタベ
午後 5:00～ 夜店（6団体予定）
6:30 開会　6:40 吹奏楽演奏
6:55 キッズダンス&ゆうゆうバンド
7:25 寄せ太鼓　7:45 木造太鼓
8:00 猿まわし　8:30 秋田大黒舞
8:50 播磨の田植え踊り
9:10 辻川鬼太鼓（餅まき）
9:30 閉会　［担当［井上・松岡］］
8／5(日)　クリーン作戦
8月中旬　自治会対抗親善ソフトボール大会
9月　各種団体・隣保長会議

祭礼行事のお知らせ

◇7月8日(日)　夏えびす
10時に神主様お祓(はらい)
一戸あたり賽銭(さいせん)200円をお願いしています。

◇7月15日(日)　夏まつり
10時に神主様お祓い。井ノ口と一緒に神事を執り行います。皆様お誘い合わせの上、多数お詣りください。［十二隣保　森下］

お知らせ

■ 山口堂建設委員会報告

4月1日、建設業者が五社の見積り合せにより、西大貫の尾上組㈲に決定した。今後は前川設計工房（大門）の監督により7月初め完成を目指す。

4月14日、建設安全祈願と仏像の移動を行った。天井裏の棟札から、山(之)口堂の前回の改築は鈴の森神社と同じ大正九年であることが判った。

4月14日 安全祈願

■ 絵馬『常盤御前図』出張

鈴の森神社の絵馬「常盤御前(ときわごぜん)図」（天保十年［1839年］作）が、5/19～6/24たつの市室津海駅館企画展「絵馬に描かれた源平」に貸し出された。

懐に抱くは牛若(後の源義経)

感謝

クスノキの落ち葉の多い5月。登記所跡周辺や辻川山公園周辺を掃除してくださっている住民の姿があった。街路樹が増えればそれだけ多くの奉仕の心が集まっていることを忘れないでいたい。

4月30日　延べ石基礎のみ残る

5月3日　周辺木々の伐採始まる

6月9日　上棟

子ども会からのお願い

ボンマルシェのレジ近くにコミュニティボックスを設置。レシートを入れていただくと、その0.3%が子ども会の活動支援金となる。現在6団体のボックスが設置されているが、レシートの多い上位3団体のみが継続して設置してもらえるそうだ。皆さんご協力を。

事業報告

◆4月7日（土）

新各種団体・隣保長会議

① 第25回運動会説明
② 旧道の舗装美装化工事完了。3箇所に大正時代風の街灯設置（上写真）
③ 山口堂建設進捗状況報告
④ 田原幼児園南のゴミステーションは町有地を借りて近く建設予定
⑤ 十隣保に新規アパート完成。十軒が辻川区入り　等

◆4月28日（土）　第6回「民俗辻広場まつり」（福崎町・福崎町教育委員会主催）が行われた。朝6時に8℃だった気温が午後2時には28．4℃まで上昇。辻川区は今年も十六隣保の岡本さんの全面協力による「ポン菓子屋」を出店。辻川商工部会の「カキ氷」は暑さも手伝い盛況だった。

↑厳橋
出店はｸﾞﾗﾝﾄﾞ
駐車場に

フクちゃんサキちゃん

◆4月29日（昭和の日）

第25回運動会

隔年開催の辻川区最大のイベント。前日に引き続きの夏日の一日、住民の約半数の500名余りが一堂に会し、辻川山の新緑の中、『見上げてごらんあの星を　そして虹を』をキャッチフレーズに、三十八年目の運動会を楽しんだ。

ムカデ競走
7隣保の勇姿、快進撃はここから始まった。

優勝の7隣保（74点）は昼の焼肉が功を奏したか…。区民の皆様、お疲れ様。そして体育委員はじめご協力いただいた皆様に感謝。

準優勝　12隣保（67点）
第3位　3隣保（59点）

3人4脚レース
←最年少チーム頑張る

グランドゴルフニアピンコンテスト

ゴム大風船はこび

◆5月20日（日）**溝普請**

区民総出の田植え前の行事。当日は上井用水と雲津川の清掃も行われた。

おめでとうございます

田原校区子供会球技大会（6/17）

▼ソフトボール（男子）**第3位**
1回戦　○6－1　対長目・八反田
2回戦　●2－3　対西光寺
3位決定戦　○30－1　対西野

プレ大会優勝の実力を町大会へ。

▼バレーボール（女子）**準優勝**
1回戦　○2－0　対西野
2回戦　○2－0　対長目・八反田
〈決勝トーナメント〉
1回戦　○2－1　対井ノ口・北野
決　勝　●0－2　対中島

町大会（7/7）で雪辱だ。ファイト

町消防団消防操法大会（5/13）

辻川分団が小型動力ポンプの部で**第3位**に（出場30分団）。

町民親善グランドゴルフ大会（5/12）

辻川チームDが**優勝**しました（出場60チーム）。

編集中記

サラリーマン川柳ベスト10（4/27朝刊）から…

「立ち上がり　目的忘れ　また座る」

「最近は　忘れるよりも　覚えない」

身に覚えのある句に思わず納得。

ところで「金環日食」は見られましたか。木漏れ日に見る日食も幻想的でよかったですね。

5/21(月)7:30 金環日食にあとわずかの投影板上の部分日食〔姫路で〕

サラリーマン川柳からもう一句

「定年後　田舎に帰れば　青年部」

失礼しました。〔田﨑〕

辻川の道

2　銀の馬車道

前後〔明治四～九年頃〕

明治前期の道をみる前にその時代背景を整理しておこう。

江戸時代を通じて福崎町域の村々はすべて姫路藩領であり、姫路藩辻川組の大庄屋を勤めたのが三木家であった。その姫路藩も明治維新後は版籍奉還の建白書を太政官に提出し、明治四年に廃止され姫路県が設けられた。その後、姫路県から飾磨県を経て、明治九年にこの地は兵庫県に統合された。政治や社会の変動は明治四年に播但一揆を生み、三木家も襲撃を受けた（表座敷「かみの間」の縁側に当時の刀傷といわれている傷跡などが残る）。また、明治新政府は神道を国教化し、明治元年に神仏分離（仏像を神体とすることをやめる）令を出した。これにより辻川の神社も変遷した。図2の山ノ口社は明治四〇年に鈴の森神社に合祀された（前年に神社合祀令）。山中の二つの社はどうなったのだろうか。なお、松岡源之助は明治六年に、柳田（松岡）國男は明治八年に、柳田と終生親交を深めた三木家第九代当主　拙二（西に隣接する辻川郵便局を大正十二年頃に建設）は明治六年に辻川で生まれた。

さて、明治四年の辻川村絵図（三木家文書、図1）から見てみよう。東西の道は北条街道。三木から宍粟に通じる因幡街道の道筋上に通っている。この絵図の西端では駒ヶ岩手前で市川左岸に沿って南へ折れ、西野村からは渡し舟で市川を横断し福崎新村へ入る。南北方向には上井用水に沿って北へ延びる生野街道（但馬道）や、4隣保から3隣保へ、上坂から鈴の森神社への道も見える。5隣保から南へは「姫路中道」と名づけられた道が見えるが、上井用水に沿ってこの春開園した田原幼児園付近までは今もその道が残る。

小河川については、雲津川が市川に流れ込まず南流していることや、谷川も現セブンイレブン付近から南へ向きを変え（図2の方が判りやすい）市川ではなく下井用水に合流している様子がうかがえる。

明治六年から建設が始まった通称「銀の馬車道」は明治九年に完成する。道幅が5m以上あったため三木家も敷地を北へ引き、表門や土塀を作り替えたそうだ。図2の田原村西田原小字絵図（明治六年　井ノ口地区蔵）には馬車道がはっきりと描かれている。この絵図からは今の角屋さんから井ノ口へ新たな道が整備中であることがわかる。この道は現在国道312号線となっている。明治時代の里道や水路がその後どのように変遷したか、調べてみるのも面白い。

図1　明治4(1871)年　辻川村絵図

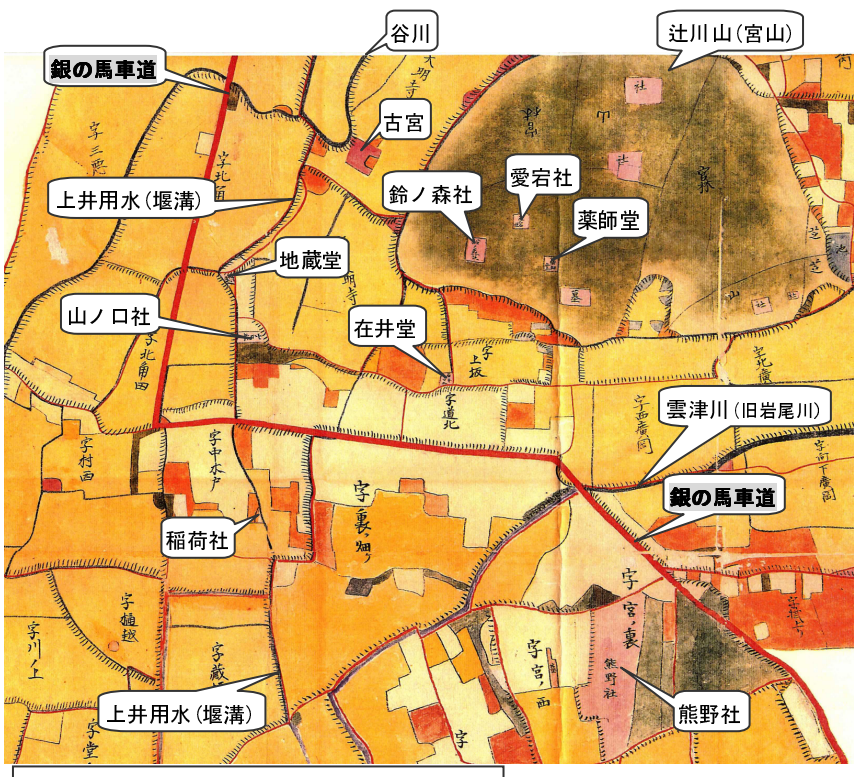

図2　明治6(1873)年　田原村西田原小字絵図

「馬車道修築」記念碑　…　姫路市砥堀の生野橋の西詰に建つ。旧街道を利用した工事だったので「修築」となっている。現在の生野橋は三代目。馬車道が飾磨津(港)から北上し、生野へつながる拠点にある橋ということで「生野橋」と名づけられたのだろうか。

＜気象の記録＞　6月19日台風4号からの湿舌が梅雨前線を刺激し、午前7～8時頃の1時間に福崎アメダスで42.5mmの雨量を記録した。これは6月の観測史上最大だそうだ。ちなみに降り始めからの総雨量は173mmだった(6/20神戸新聞)。

＜参考文献・出典＞

・福崎町史　第一・第三・第四巻
・神崎郡歴史民俗資料館特別展
　福崎町の文化財(平成一六年)
　福崎記（平成一八年度）
　福崎の道（平成一九年度）
・大庄屋三木家よもやま話第5・16・19話（広報ふくさき）